



令和6年産米の 作柄と品質の概況

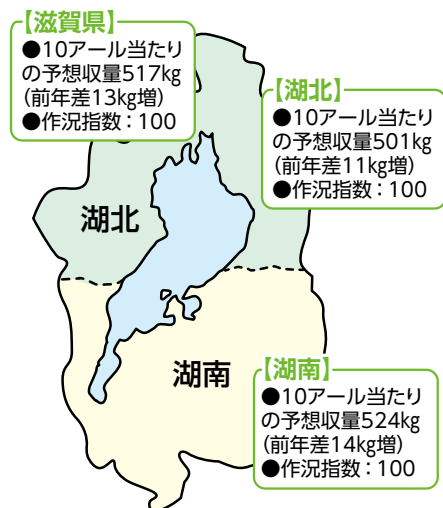


滋賀県の作況指数

令和6年産水稻の予想収量と作況指数(9月25日現在)が公表されました。滋賀県の予想収量は10aあたり517kg(前年産に比べ13kg増加)で、作況指数は100となり「平年並み」となる見込みです。

滋賀県の作況指数

(9月25日現在)



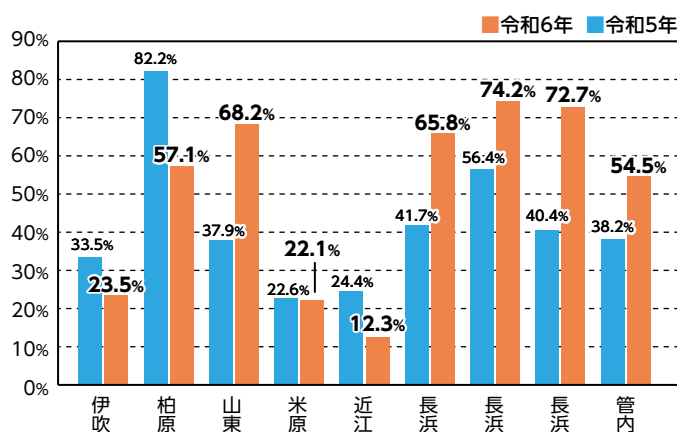
全国の作況指数は102で「やや良」

9月25日現在における全国の10a当たり予想収量は544kgと見込まれる。一部地域で5月下旬から6月上旬にかけての低温や6月下旬から7月中旬にかけての断続的な日照不足等の影響があったものの、多くの地域で総じて天候に恵まれ、作柄は平年並み以上と見込まれるためである。北海道と東日本がおおむね高温、多照で推移し天候に恵まれた一方で、西日本は6月～7月の大雨や日照不足、7月～8月にかけての記録的な高温と少雨の影響を受けた。

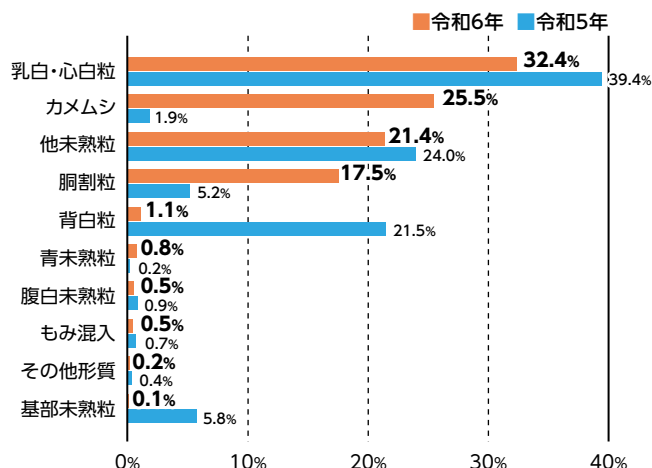
滋賀県の作柄概況

穂数は、田植期以降5月中～下旬の日照不足により分げつが抑制されたこと等により「やや少ない」となった。1穂当たりもみ数は、幼穂形成期の6月下旬～7月下旬が天候に恵まれたことや、1穂当たりもみ数が多いとなったことから「やや多い」となった。登熟は、出穂・開花期に当たる7月中旬～8月中旬の気温が記録的な高温となった影響により、不稔もみの発生がみられることや、全もみ数がやや多いことで「やや不良」と見込まれる。

地域別コシヒカリ1等比率(地場集荷分9月末現在)



コシヒカリ2等以下の要因(R5と比較)



営農指導 活動

pick up タマネギの生産振興 タマネギの育苗開始!

園芸農家向けや家庭菜園向けの生産振興と安定供給に向けてタマネギの育苗を開始しました。JAレーク伊吹では、水田を中心とした生産振興に力を入れており、加工業務用タマネギの栽培面積は、令和7年産で約20haを計画しています。育苗箱数は約10万箱で、育苗供給から販売までの安生産に向け活動しています。期間中は病害虫防除と剪葉作業を3回～4回繰り返し強い苗に育てます。育苗生産は9月中旬から11月中旬まで続きます。



特産振興課
水森 寛太